

議案第 2 号

平成 2 9 年度検討計画（案）について

平成 2 9 年度検討計画（案）は、次に定めるところによる。

平成 2 9 年 6 月 2 9 日

飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会
会 長 久 野 時 男

平成29年度の検討計画(案)

飛島村地域公共交通 活性化再生法定協議会

平成19年6月1日設置（地域公共交通会議）

1. 協議会が目指す方向性 (Plan)

<飛島村における公共交通に関する課題>

- 飛島村には、鉄軌道がない。H21年以前は村内を通過する民間路線バスも飛島村による欠損金補助により維持してきたが路線廃止の懸念があり、また、ルートの形状から一部の沿線住民しか利用できない交通空白地問題を抱えていた。
- 総合病院や大型商業施設はなく、通勤通学先も村外という状況から、住民ニーズは最寄りの中心市「名古屋市」等に移動できる公共交通サービスの向上が求められた。

<総合計画における公共交通の位置づけ (H25～H34)>

- 飛島バスの運行方法等の改善により利便性を高め、住民や勤労者の移動手段として恒久的な維持存続を目指す。

<課題解決に向けた対応→連携計画策定 (H21～H26) とコミュニティバス等の運行>

- 課題解消を図るため、活性化再生法に基づきH20/12に「飛島村地域公共交通総合連携計画」を策定、H21年度より実証運行を開始。
- 鉄道駅と接続する幹線系統の「蟹江線・名港線」、地域内をカバーする地域内フィーダー系統の「コミュニティバス」を運行させる。
- 総合病院への移動手段として事前予約制区域運行の「海南病院通院支援タクシー」も運行させる。
- コミュニティバスの利用者数が低迷。補助金利用もあり、大幅な見直しが必要とされる。

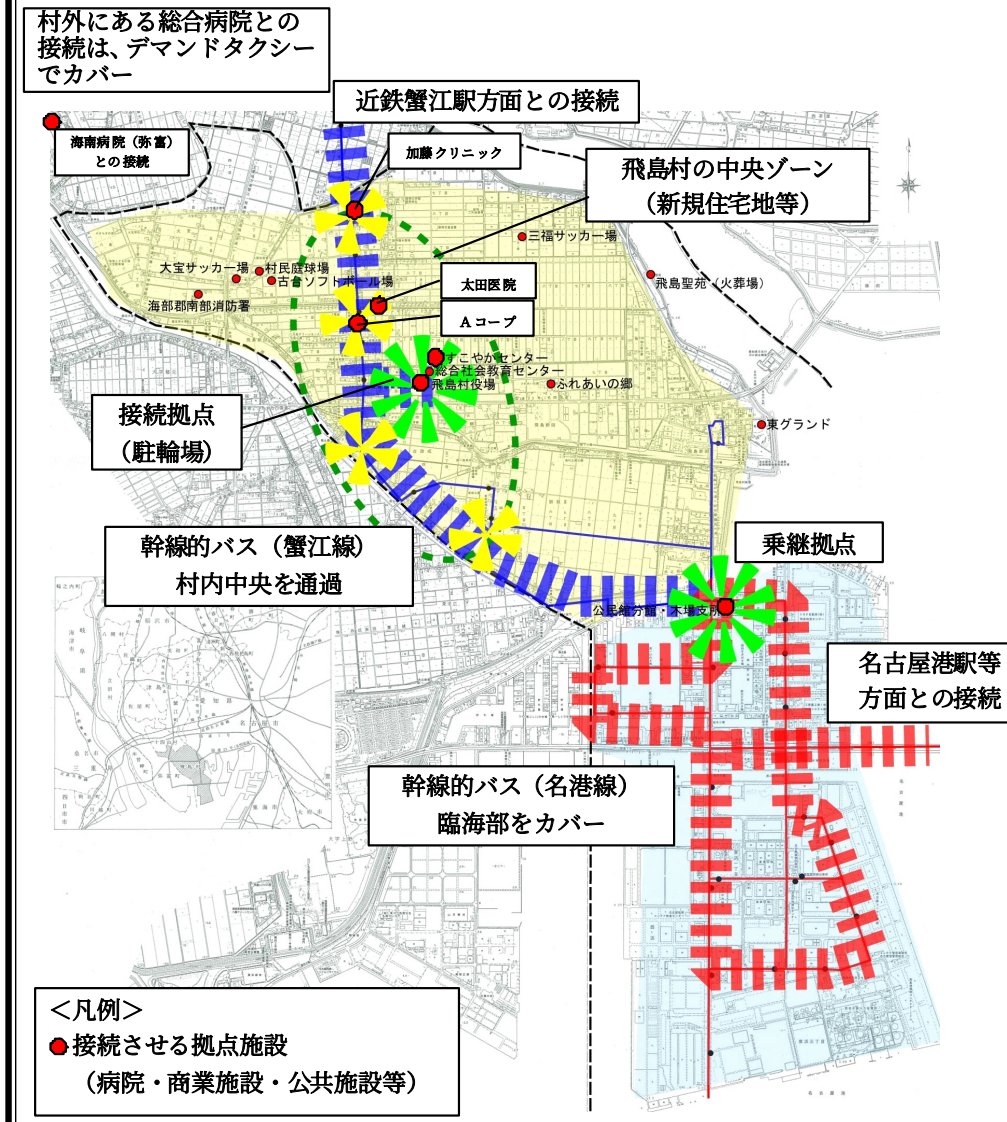
<平成27年4月 地域公共交通網形成計画を策定>

～連携計画から交通網形成計画への変更点～

- 将来的な公共交通ネットワークイメージを構築(右図)
- 住民ニーズ等を反映し、法定協議会での合意を得て、コミュニティバスを廃止。
- 近鉄蟹江駅への移動環境強化として「蟹江線の増便」+主要バス停での駐輪場整備を行う。
- 蟹江線・名港線・海南病院通院支援タクシーの運行は継続。

※平成29年度は、地域公共交通網形成計画の「中間評価」年度。

○まちづくり計画と連動した将来の公共交通ネットワークイメージ図



2. 地域公共交通に関するこれまでの取組経過

○全ネットワークのこれまでの取組

- 平成19年6月に飛島村地域公共交通会議を設置、平成20年12月に「地域公共交通総合連携計画」を策定。
- 三重交通(株)により運行されていた路線バス「蟹江線(赤字欠損金を補填)」を幹線系として位置づけ、交通空白部分をコミュニティバスでカバーする計画を策定、平成21年4月よりコミバス試行運行を開始。
- 弥富市の総合病院までの公共交通確保に対する住民ニーズを反映し、当該計画で位置づけていた「海南病院通院支援タクシー(事前予約制乗合タクシー)」の試行運行を平成21年10月より開始。
- 定期的に協議会を開催、事業見直しを行うと共に、平成23年の地域公共交通確保維持改善事業への転換を契機に、「蟹江線」を幹線系統、コミュニティバスをフィーダー系統とする「生活交通NW計画」を策定。
- 平成25年度から、バス検討委員会を設置し、地域公共交通総合連携計画の見直しに係る検討を開始。
- 平成27年3月末にて、飛島コミュニティバスを廃止。
- 平成27年4月「地域公共交通網形成計画」を策定。
- 平成27年4月より、蟹江線の増便、名港線のダイヤ変更等を行う。
- 平成28年11月1日より海南病院通院支援タクシーの一部増便を行う。
- 平成29年1月1日より蟹江線のダイヤ変更を行う。
- 平成29年度＝地域公共交通網形成計画の中間評価年度(評価実施)

●コミュニティバスの車両(廃止)



●飛島バス 名港線・蟹江線の車両

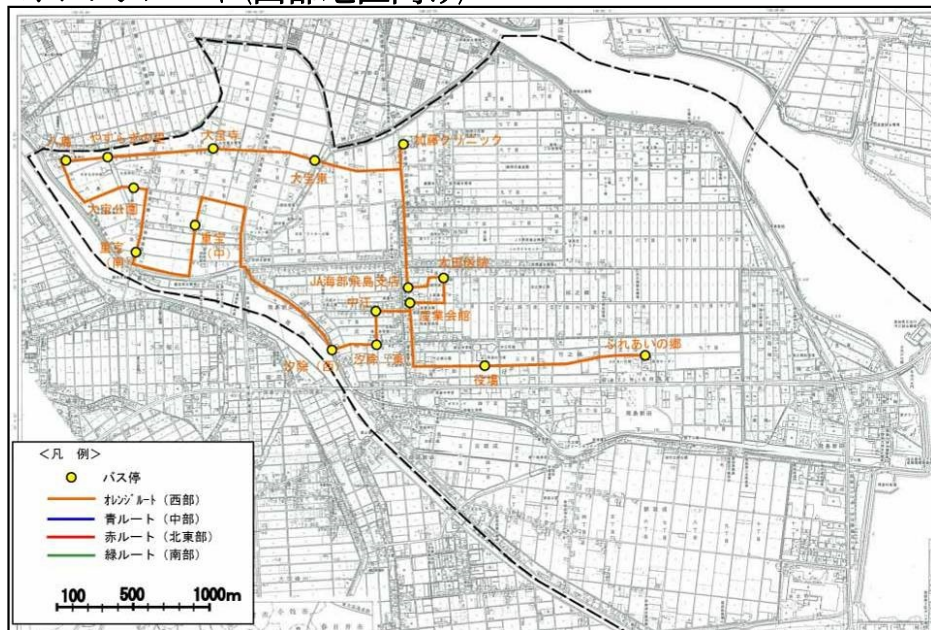


●海南病院通院支援タクシー事業 (H21/10～)

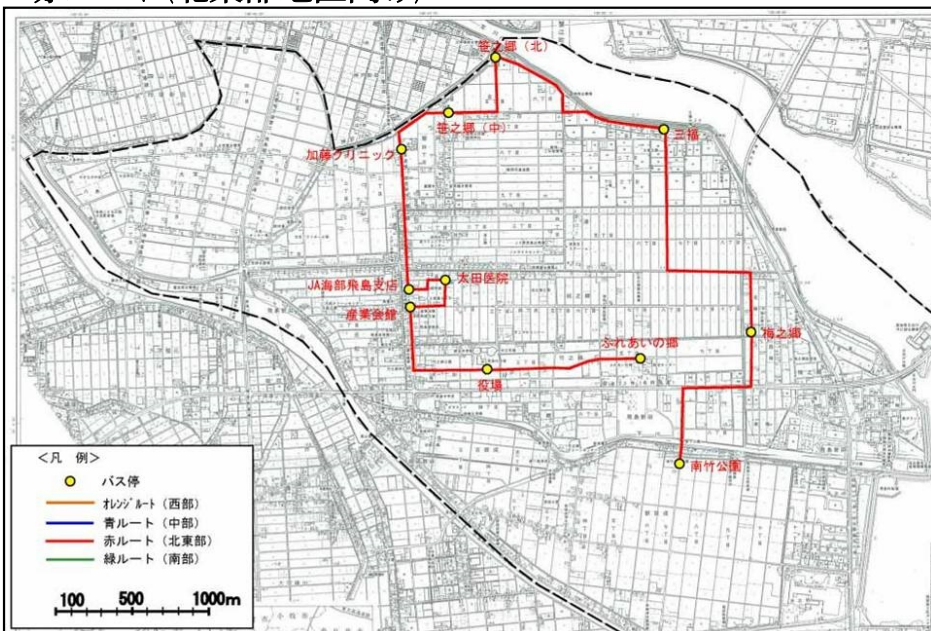


年月 (4-3月年度表記)	取組内容
平成20年度	飛島村地域公共交通総合連携計画の策定
平成21年4月1日	飛島公共交通バス・コミュニティバスの運行開始(実証実験)
平成21年10月1日	海南病院通院支援タクシーの運行開始
平成22年10月1日	コミュニティバスの運行ルートの見直し(近鉄蟹江駅接続)
平成22年10月1日	飛島公共交通バス(蟹江線・名港線)の一部ダイヤ見直し
平成22年10月1日	海南病院通院支援タクシーの区域運行化
平成23年度	実証実験(3カ年)をふまえた事業・協議会運営の見直し
平成23年度	地域公共交通確保維持改善事業準備(生活交通NW計画案の策定等)
平成24年度	各種PR・広報事業(4月老人クラブ事業紹介、11月イベント広報等)
平成25～26年度	地域公共交通総合連携計画の見直し検討(コミュニティバスの見直し)
平成27年3月	飛島コミュニティバスの廃止
平成27年4月	飛島村地域公共交通網形成計画の策定(蟹江線の増便等対応)
平成28年11月1日	海南病院通院支援タクシー 一便増便
平成29年1月1日	蟹江線のダイヤ変更

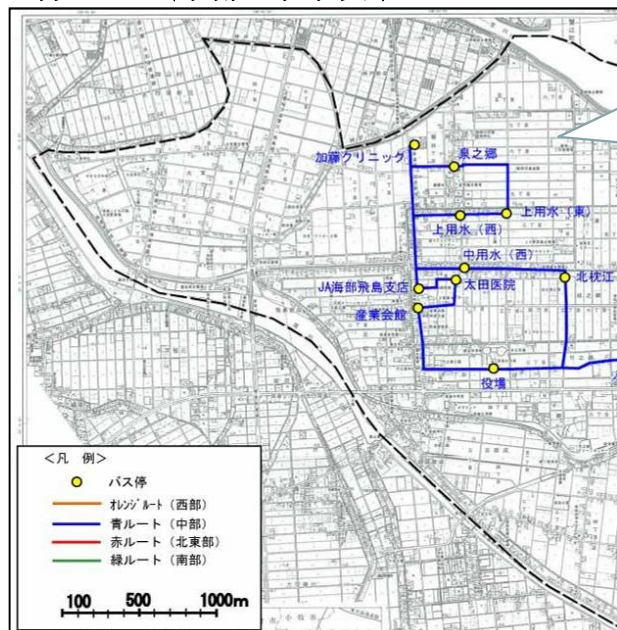
オレンジルート (西部地区向け)



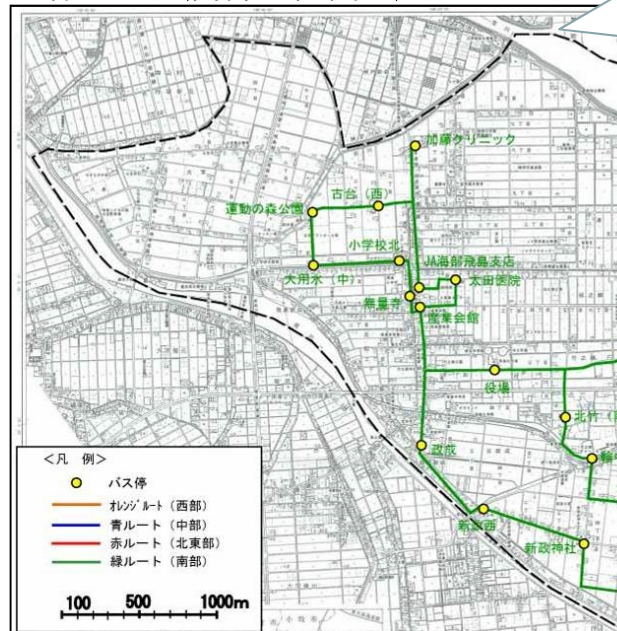
赤ルート(北東部地区向け)



青ルート(中部地区向け)



緑ルート(南部地区向け)

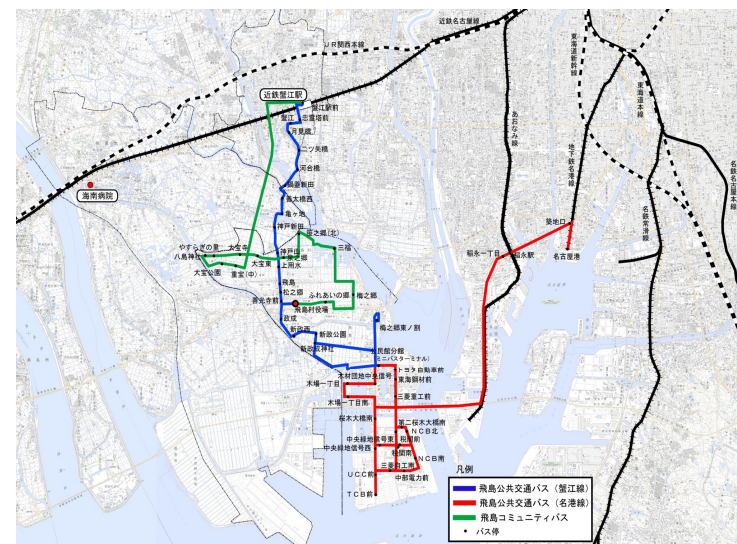
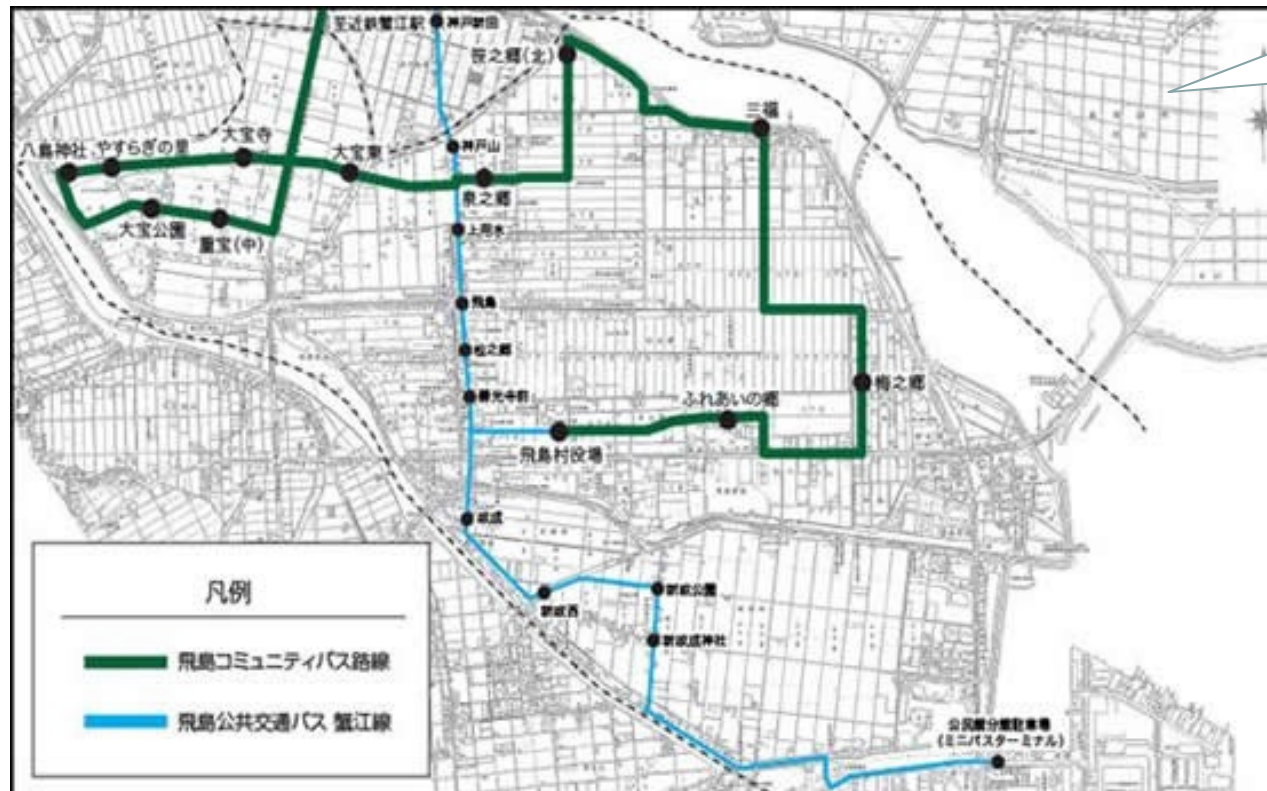


1台の車両、4つのルート
で、村内を概ねカバーして
いました。

1年間の実験運行を実施。
村内のみの巡回で、利用
が少なく、近鉄蟹江駅への
接続希望が多く寄せられた。

3. コミュニティバス事業の変遷 (これまでの取り組み)

■第2期 「近鉄蟹江駅へ接続させたコミュニティバスの路線図」

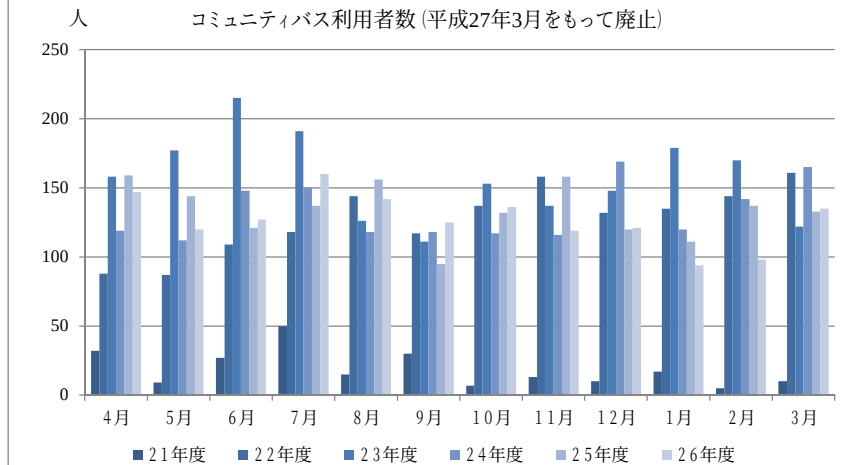


<利用実績推移>

- 平成22年4月の変更時に、初年度の225人から1,530人(580%)まで大幅増加。
- 翌23年度も23.3%増加。定着したと思われる。
- 平成24年度以降、減少に転じる。平成25年度微増、26年度減少。

平成22年4月にルート変更。

村内を巡回後、近鉄蟹江駅に接続。駅と村間は、西尾張中央道を経由してノンストップで接続。



	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
4月	32	88	158	119	159	147
5月	9	87	177	112	144	120
6月	27	109	215	148	121	127
7月	50	118	191	150	137	160
8月	15	144	126	118	156	142
9月	30	117	111	118	95	125
10月	7	137	153	117	132	136
11月	13	158	137	116	158	119
12月	10	132	148	169	120	121
1月	17	135	179	120	111	94
2月	5	144	170	142	137	98
3月	10	161	122	165	133	135
合計	225	1,530	1,887	1,594	1,603	1,524
増加率		580.0%	23.3%	-15.5%	0.6%	-4.9%

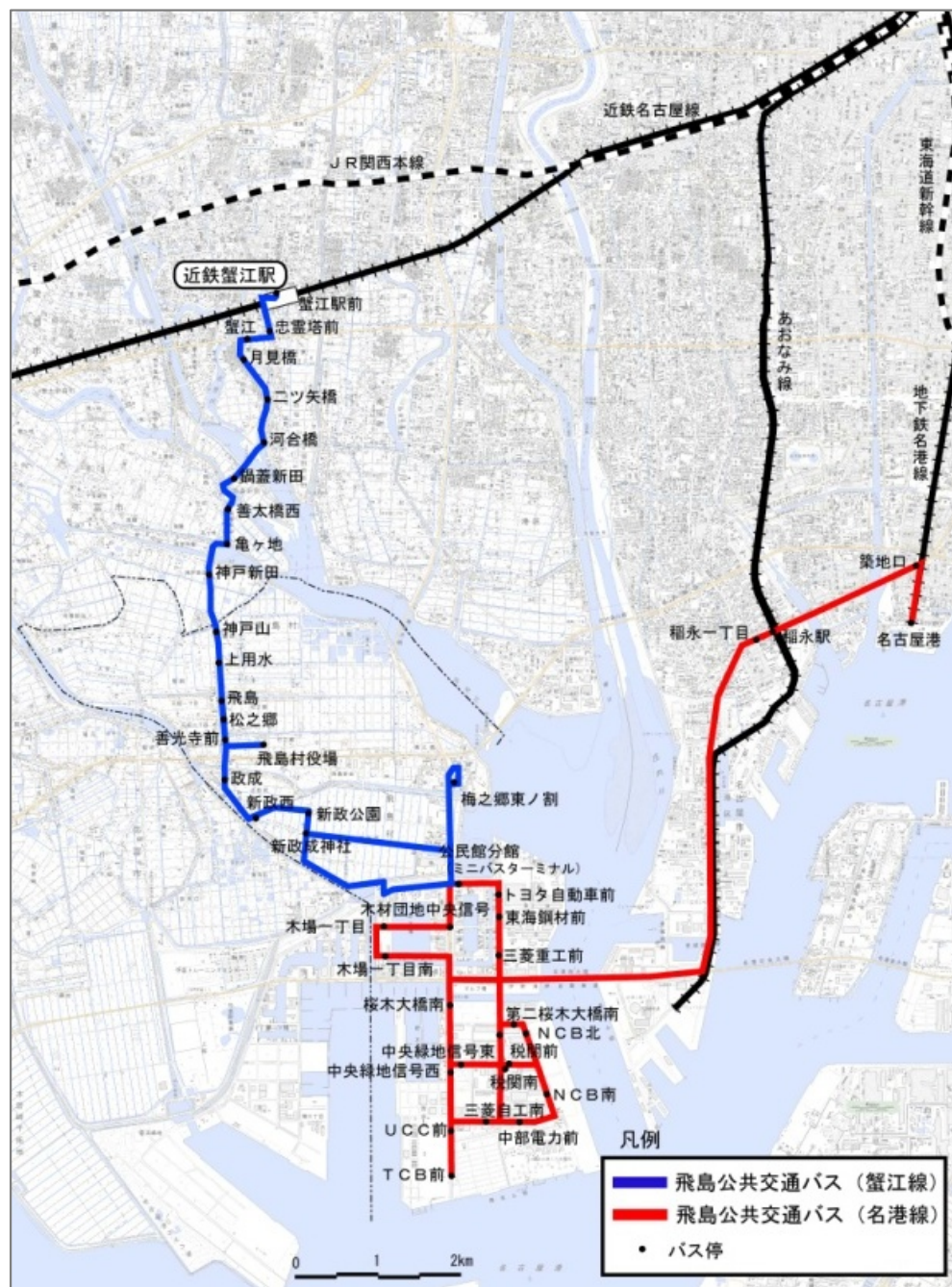
補助金評価	H22 (21.10~)	H23 (22.10~)	H24 (23.10~)	H25 (24.10~)	H26 (25.10~)	H27 (半期)
10-9計	725	1,845	1,674	1,641	1,612	703
増加率		154.5%	-9.3%	-2.0%	-1.8%	-11.1%

<事業収支状況>

- 小型バス1台を投入し、年間約1,000万円の事業費。
- 運賃収入は約30万円程度で、収支率3.0%。
- 収支状況も悪く、国から大幅な見直すべきとの指導もあり、廃止を決定。平成27年3月末をもって廃止した。

4. 地域公共交通網形成計画で描くネットワークの姿

＜平成27年4月 交通網形成計画で定めた新たなネットワーク＞



○乗継環境整備
・駐輪場の設置

平成27年3月のコミュニティバスの廃止をふまえ、平成27年4月に蟹江線を増便する。
(蟹江線への転換を促す)



○住民ニーズの把握やPR活動等に関する取組み(継続取組み分も含む)

年月 (4-3月年度表記)	取組内容
○平成24年度～	○高齢者等に対し、老人クラブ等における各種PR・広報事業
○平成24年10月～	○地域公共交通確保維持改善事業の開始(幹線・フィーダー系統) ・H24年度:H24.4～9 ・H25年度:H24.10～H25.9 ・H26年度:H25.10～H26.9
○平成24年、25年、26年、27年の11月	○イベントを活用したPR・広報活動の実施(パネルによる広報、バス便り配付、要望調査)
○平成25年度 (H25.4-H26.9)	○バス検討委員会を設置、連携計画の見直しを開始 ○住民向けアンケート調査(H25.9)、利用者向けアンケート調査(H26.2)に実施
○平成26年度 (H26.4-H27.3)	○H26.5 コミュニティバスの利用促進のための「バス便り」を広報を用いて全戸配布 ○法定協でのコミュニティバスの廃止協議をふまえ、「バス便り」により周知実施。

5. 利用実績推移 (Check)

○利用実態による評価 (蟹江線・コミュニティバス)

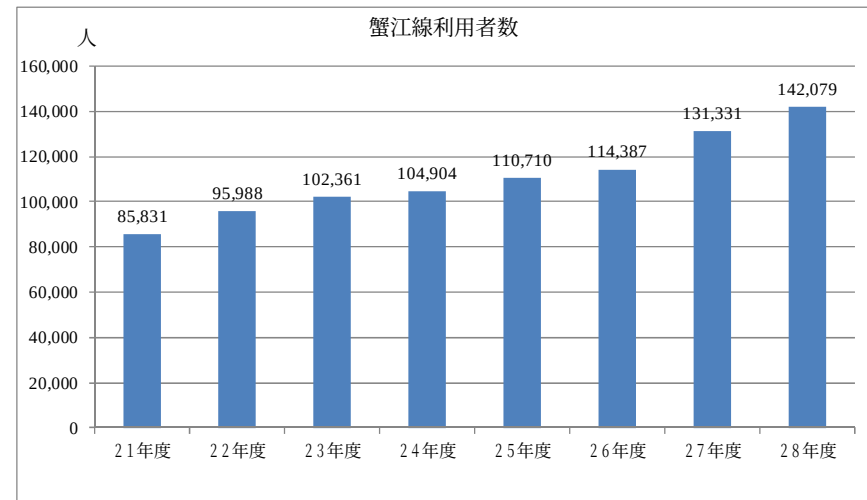
- コミュニティバスの廃止前の平成26年度(4-3月)の利用実績は1,524人。対前年比で79人の減少(▲4.9%)。……廃止を決定。
- コミュニティバス廃止後の平成27年度の「蟹江線」の利用実績は、前年比+14.8%、16,944人の増加。
- コミュニティバスの1年間の利用者数よりもはるかに上回り、新しく公共交通を利用する人を獲得した。
- 平成28年度の蟹江線の利用実績は、前年比8.2%(10,748人)増加している。(名港線の利用者数を逆転している)
- 利用者が増加しており、順調に推移している。

蟹江線利用者数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
4月	7,184	8,588	8,853	8,604	9,454	9,846	11,324	12,060	12,599
5月	7,152	8,503	8,758	9,182	10,092	10,106	11,143	12,030	13,196
6月	7,863	8,751	9,484	9,426	10,077	10,363	12,231	13,038	
7月	7,963	8,252	8,768	9,229	10,549	10,194	11,892	12,708	
8月	6,161	7,106	7,751	8,252	8,183	7,910	9,664	11,190	
9月	6,969	7,769	8,416	8,477	8,544	9,295	10,741	12,241	
10月	7,520	8,125	9,082	9,287	9,538	10,154	11,576	12,876	
11月	6,921	8,513	9,190	9,073	9,302	9,337	11,128	11,513	
12月	7,298	7,932	8,506	8,803	8,876	9,653	10,559	11,857	
1月	6,872	7,582	7,935	8,315	8,664	9,340	10,393	11,050	
2月	6,833	7,373	7,881	7,947	8,567	8,865	10,072	10,141	
3月	7,095	7,494	7,737	8,309	8,864	9,324	10,608	11,375	
合計	85,831	95,988	102,361	104,904	110,710	114,387	131,331	142,079	
増加率		11.8%	6.6%	2.5%	5.5%	3.3%	14.8%	8.2%	

7.1%

補助金評価	H22 (21.10～)	H23 (22.10～)	H24 (23.10～)	H25 (24.10～)	H26 (25.10～)	H27 (26.10～)	H28 (27.10～)	H29 (28.10～)	H30 (29.10～)
10-9計	91,508	99,049	103,501	108,633	111,525	123,668	137,603		
増加率		8.2%	4.5%	5.0%	2.7%	10.9%	11.3%		

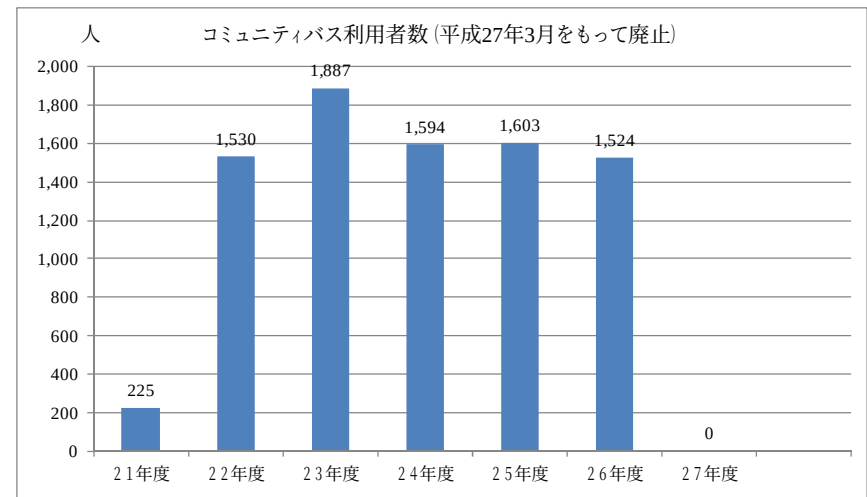


コミュニティバス利用者数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
4月	32	88	158	119	159	147	-
5月	9	87	177	112	144	120	-
6月	27	109	215	148	121	127	-
7月	50	118	191	150	137	160	-
8月	15	144	126	118	156	142	-
9月	30	117	111	118	95	125	-
10月	7	137	153	117	132	136	-
11月	13	158	137	116	158	119	-
12月	10	132	148	169	120	121	-
1月	17	135	179	120	111	94	-
2月	5	144	170	142	137	98	-
3月	10	161	122	165	133	135	-
合計	225	1,530	1,887	1,594	1,603	1,524	-
増加率		580.0%	23.3%	-15.5%	0.6%	-4.9%	

補助金評価	H22 (21.10～)	H23 (22.10～)	H24 (23.10～)	H25 (24.10～)	H26 (25.10～)	H27 (半期)
10-9計	725	1,845	1,674	1,641	1,612	703
増加率		154.5%	-9.3%	-2.0%	-1.8%	-11.1%

791



5. 利用実績推移 (Check)

○利用実態による評価 (名港線)

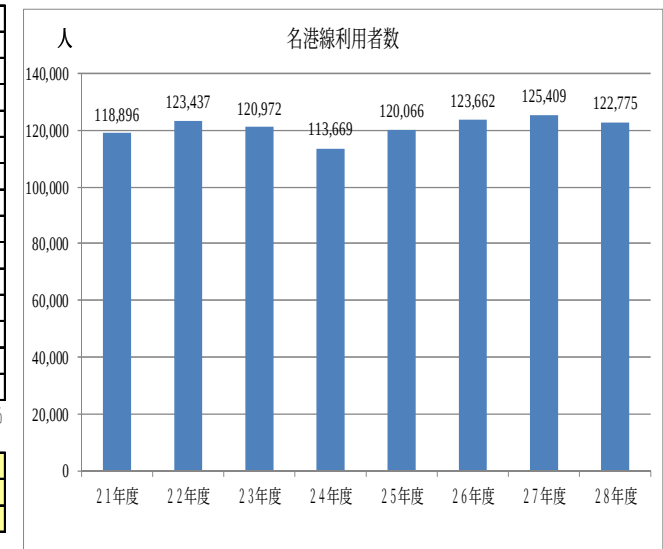
- 名港線の平成28年度の利用者数は、122,775人で、前年比▲2.1%の減少。
- 概ね安定して利用されている。

名港線利用者数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
4月	10,361	11,387	10,740	10,053	10,504	10,196	11,309	10,753	10,656
5月	9,544	9,753	9,471	10,025	10,099	9,946	10,188	10,310	10,653
6月	11,406	11,473	11,311	10,515	10,032	10,870	11,501	11,732	
7月	10,577	11,005	10,220	10,155	10,839	11,255	11,555	10,336	
8月	9,157	10,160	10,499	9,280	9,415	9,752	9,663	9,950	
9月	9,370	10,347	9,641	9,006	9,623	10,815	10,116	10,217	
10月	10,305	10,247	10,232	10,180	11,292	11,105	10,991	10,184	
11月	9,671	10,066	10,047	9,649	10,304	9,468	10,036	10,062	
12月	9,012	9,431	9,495	8,373	9,230	9,656	9,552	9,467	
1月	9,066	9,177	8,986	8,349	9,670	9,499	9,383	9,395	
2月	9,528	9,547	10,133	8,764	9,379	9,775	10,193	9,394	
3月	10,899	10,844	10,197	9,320	9,679	11,325	10,922	10,975	
合計	118,896	123,437	120,972	113,669	120,066	123,662	125,409	122,775	
増加率		3.8%	-2.0%	-6.0%	5.6%	3.0%	1.4%	-2.1%	

1.2%

補助金評価	H22(21.10~)	H23(22.10~)	H24(23.10~)	H25(24.10~)	H26(25.10~)	H27(26.10~)	H28(27.10~)	H29(28.10~)	H30(29.10~)
10-9計	122,606	121,194	118,124	115,147	122,388	125,160	124,375		
増加率		-1.2%	-2.5%	-2.5%	6.3%	2.3%	-0.6%		



○利用実態による評価 (海南病院通院支援タクシー)

- 海南病院通院支援タクシーの平成28年度の利用は614人で、前年比で▲1人 (▲0.2%) の減少。
- 29年度の2カ月間で、前年比+53.7%と急増しており、1便増加したサービス向上・PRの効果が表れている。

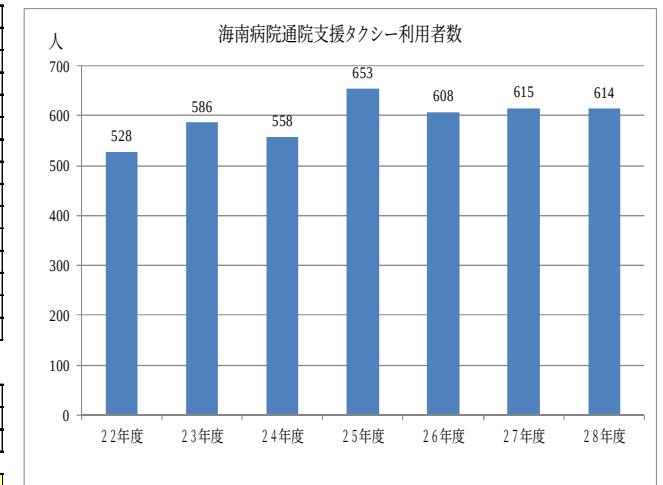
海南病院通院支援タクシー利用者数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
4月		61	45	47	62	56	77	44	83
5月		35	49	44	50	41	37	64	83
6月		54	72	43	52	50	66	52	
7月		70	52	40	85	75	54	47	
8月		37	59	50	84	48	49	45	
9月		37	70	42	40	65	40	43	
10月	50	28	39	39	44	65	47	38	
11月	20	56	46	58	45	42	42	41	
12月	19	38	35	58	40	56	49	46	
1月	26	30	48	35	39	25	45	41	
2月	29	36	33	50	62	34	53	68	
3月	29	46	38	52	50	51	56	85	
合計	173	528	586	558	653	608	615	614	166
増加率		205.2%	11.0%	-4.8%	17.0%	-6.9%	1.2%	-0.2%	

53.7%

タクシー乗合率	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
運行回数	147	458	468	472	551	529	542	538	140
乗車率(人/回)	1.177	1.153	1.252	1.182	1.185	1.149	1.135	1.141	1.186

補助金評価	H22(21.10~)	H23(22.10~)	H24(23.10~)	H25(24.10~)	H26(25.10~)	H27(26.10~)	H28(27.10~)	H29(28.10~)	H30(29.10~)
10-9計	467	581	505	665	615	596	587		
増加率		24.4%	-13.1%	31.7%	-7.5%	-3.1%	-1.5%		



5. 利用実績推移 (Check)

○蟹江線の便別の利用状況(平成28年度)

- 平日の朝便(6:40分館1便、7:25分館2便、8:00分館4便、6:42蟹江2便、7:03蟹江3便)の平均乗車人数が20人/便を超える。(利用車両が中型車であるため、ほぼ満車状態)



蟹江線											
合計(4月～3月)											
平日		246日		土曜		51日		日祝		68日	
便数		人数		便数		人数		便数		人数	
6:40	6:07	6,492	2,582	7:35	6:57	812	698	7:35	6:57	771	464
分館1	蟹江1	(26.39)	(10.50)	分館1	蟹江1	(15.92)	(13.69)	分館1	蟹江1	(11.34)	(6.82)
7:25	6:42	6,591	7,279	8:35	7:57	318	517	8:35	7:57	322	460
分館2	蟹江2	(26.79)	(29.59)	分館2	蟹江2	(6.24)	(10.14)	分館2	蟹江2	(4.74)	(6.76)
7:45	7:03	2,738	6,145	9:35	8:42	232	571	9:35	8:42	224	797
分館3	蟹江3	(11.13)	(24.98)	分館3	蟹江3	(4.55)	(11.20)	分館3	蟹江3	(3.29)	(11.72)
8:00	7:27	5,369	4,154	10:35	9:42	230	558	10:35	9:42	180	692
分館4	蟹江4	(21.83)	(16.89)	分館4	蟹江4	(4.51)	(10.94)	分館4	蟹江4	(2.65)	(10.18)
8:55	8:20	1,292	3,405	11:40	10:47	249	431	11:40	10:47	237	483
分館5	蟹江5	(5.25)	(13.84)	分館5	蟹江5	(4.88)	(8.45)	分館5	蟹江5	(3.49)	(7.10)
9:55	9:00	1,018	2,880	12:40	11:47	302	331	12:40	11:47	270	392
分館6	蟹江6	(4.14)	(11.71)	分館6	蟹江6	(5.92)	(6.49)	分館6	蟹江6	(3.97)	(5.76)
10:45	10:00	739	2,104	13:40	12:47	396	427	13:40	12:47	367	438
分館7	蟹江7	(3.00)	(8.55)	分館7	蟹江7	(7.76)	(8.37)	分館7	蟹江7	(5.40)	(6.44)
11:35	10:50	1,140	1,240	14:40	13:47	346	369	14:40	13:47	387	322
分館8	蟹江8	(4.63)	(5.04)	分館8	蟹江8	(6.78)	(7.24)	分館8	蟹江8	(5.69)	(4.74)
12:15	11:30	1,412	1,168	15:40	14:47	361	396	15:40	14:47	439	298
分館9	蟹江9	(5.74)	(4.75)	分館9	蟹江9	(7.08)	(7.76)	分館9	蟹江9	(6.46)	(4.38)
12:55	12:10	1,451	1,006	16:40	15:47	398	483	16:40	15:47	529	356
分館10	蟹江10	(5.90)	(4.09)	分館10	蟹江10	(7.80)	(9.47)	分館10	蟹江10	(7.78)	(5.24)
13:35	12:50	1,537	1,048	17:45	16:52	529	436	17:45	16:52	612	397
分館11	蟹江11	(6.25)	(4.26)	分館11	蟹江11	(10.37)	(8.55)	分館11	蟹江11	(9.00)	(5.84)
14:15	13:30	1,202	777	18:45	18:00	496	601	18:45	18:00	646	467
分館12	蟹江12	(4.89)	(3.16)	分館12	蟹江12	(9.73)	(11.78)	分館12	蟹江12	(9.50)	(6.87)
14:55	14:10	1,073	663	19:30	18:32	401	211	19:30	18:32	442	221
分館13	蟹江13	(4.36)	(2.70)	分館13	蟹江13	(7.86)	(4.14)	分館13	蟹江13	(6.50)	(3.25)
15:35	14:50	1,458	699	20:35	19:42	535	230	20:35	19:42	514	296
分館14	蟹江14	(5.93)	(2.84)	分館14	蟹江14	(10.49)	(4.51)	分館14	蟹江14	(7.56)	(4.35)

蟹江線											
合計(4月～3月)											
平日		246 日		土曜		51 日		日祝		68 日	
便数		人数		便数		人数		便数		人数	
16:15	15:30	2,318	1,089								
分館15	蟹江15	(9.42)	(4.43)								
16:45	15:52	2,260	1,777								
分館16	蟹江16	(9.19)	(7.22)								
17:00	17:00	1,615	3,136								
分館17	蟹江17	(6.57)	(12.75)								
17:45	17:40	2,931	3,800								
分館18	蟹江18	(11.91)	(15.45)								
18:30	17:37	4,033	3,739								
分館19	蟹江19	(16.39)	(15.20)								
19:00	18:40	2,484	2,359								
分館20	蟹江20	(10.10)	(9.59)								
19:30	19:10	2,792	1,744								
分館21	蟹江21	(11.35)	(7.09)								
20:00	19:40	1,963	1,779								
分館22	蟹江22	(7.98)	(7.23)								
20:30	20:20	1,782	2,528								
分館23	蟹江23	(7.24)	(10.28)								
21:05	21:15	1,765	427								
分館24	蟹江24	(7.17)	(1.74)								
21:35		1,746									
分館25		(7.10)									
22:00		1,463									
分館26		(5.95)									
合計		60,664	57,528	合計		5,605	6,259	合計		5,940	6,083
1 日 平均		246.60	233.85	1 日 平均		109.90	122.73	1 日 平均		87.35	89.46

5. 利用実績推移 (Check)

○名港線の便別の利用状況 (平成28年度)

- 平日の朝便 (6:57名港1便、7:15名港2便、7:33名港4便) の平均乗車人数が40人/便を超える。
(利用車両が大型車ではあるが、ほぼ満車状態)



名港線					
合計 (4月～3月)					
平日	244日	土曜	50日	祝日	15日
便数	人数	便数	人数	便数	人数
6:57	11,208	7:15	1,562	7:15	542
名港1	45.93	名港1	31.24	名港1	36.13
7:15	10,933	7:30	400	7:30	221
名港2	44.81	名港2	8.00	名港2	14.73
7:18	9,510	7:50	386	7:50	129
名港3	38.98	名港3	7.72	名港3	8.60
7:33	10,428	8:15	69	8:15	13
名港4	42.74	名港4	1.38	名港4	0.87
7:40	7,244	8:55	57	8:55	22
名港5	29.69	名港5	1.14	名港5	1.47
7:48	5,899	9:45	60	9:45	16
名港6	24.18	名港6	1.20	名港6	1.07
8:32	1,180	10:50	177	10:50	11
名港7	4.84	名港7	3.54	名港7	0.73
9:03	755	11:50	503	11:50	52
名港8	3.09	名港8	10.06	名港8	3.47
9:48	461	12:50	218	12:50	30
名港9	1.89	名港9	4.36	名港9	2.00
10:54	946	13:50	140	13:50	21
名港10	3.88	名港10	2.80	名港10	1.40
11:48	1,700	14:50	238	14:50	47
名港11	6.97	名港11	4.76	名港11	3.13
12:48	1,382	15:55	218	15:55	43
名港12	5.66	名港12	4.36	名港12	2.87
13:48	3,354	16:35	428	16:35	193
名港13	13.75	名港13	8.56	名港13	12.87
14:48	1,483	17:33	220	17:33	211
名港14	6.08	名港14	4.40	名港14	14.07

名港線					
合計 (4月～3月)					
平日	244日	土曜	50日	祝日	15日
15:48	1,361	17:35	111	17:35	118
名港15	5.58	名港15	2.22	名港15	7.87
16:58	5,229	18:33	96	18:33	82
名港16	21.43	名港16	1.92	名港16	5.47
16:38	4,414	18:35	120	18:35	124
名港17	18.09	名港17	2.40	名港17	8.27
17:26	7,522				
名港18	30.83				
17:33	4,509				
名港19	18.48				
17:46	4,150				
名港20	17.01				
17:38	4,934				
名港21	20.22				
18:28	3,588				
名港22	14.70				
18:38	5,213				
名港23	21.36				
19:28	2,926				
名港24	11.99				
19:28	2,749				
名港25	11.27				
20:23	2,819				
名港26	11.55				
合計	115,897	合計	5,003	合計	1,875
1日平均	474.99	1日平均	100.06	1日平均	125.00
合計 (4月～3月)				122,775	

6. 自己評価における評価結果

<飛島村地域公共交通網形成計画における計画の目標>

4つの基本方針	計画の目標
地域のまちづくり戦略を念頭においた公共交通の拡充	①公共交通の利便性を高め、住民や勤労者の移動手段として恒久的な維持存続を目指す。 ②公共交通の利便性を高めるため、バス停周辺の歩道や駐輪場等の利用環境の向上を目指す。
広域的な移動を担保した総合的な公共交通サービスのネットワークの強化	①村外との鉄道と接続する「飛島公共交通バス(蟹江線・名港線)」の維持拡充を図る。 ②鉄道や近隣市町のコミュニティバスとのネットワーク強化を図るため、乗り継ぎ利便性の向上を図る。
多様なモードの組み合わせによる最適な交通サービスの提供	①住民に提供できる交通モードを再構築し、各モードの役割分担を意図した多様なモードの組み合わせによる交通サービスを提供する。
関係者の協力と連携を得た交通環境の確保と利用促進策の拡充	①村民の移動手段の確保のため、高齢者・心身障害者福祉タクシー助成制度等、関係部門との連携・分担を進める。 ②交通事業者や住民、行政の協働による利用促進活動を実施する。

<飛島村地域公共交通網形成計画における評価指標の設定>

事業	事業名	評価指標
運行事業	○飛島公共交通バス(蟹江線・名港線)事業 ○海南病院通院支援タクシー事業	○路線別利用者数の推移(毎年調査) ○財政支援額の推移(利用者数が悪化時)
関連事業	○利用促進策 ○利用環境整備(駐輪場整備)	○住民の公共交通の利用割合(H31年度時調査) ○駐輪場整備数(最終年度:8か所)

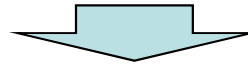
<評価結果>

- 平成28年度の対前年との比較を行った。蟹江線は7.1%の増加(10,748人増)、名港線は▲2.1%の減少(2,634人減)、海南病院通院支援タクシーは▲0.2%の減少(▲1人減)となった。
- 名港線・海南病院通院支援タクシーは減少しているものの、毎日運行しているため、1日あたり(年340日換算)の減少数は、名港線で7.7人、タクシーで0.002人の減少となり、往復で考えれば、約3人の利用が減ったことになる。
- 一方、蟹江線の増加は、1日あたり31.6人の増加(往復で15人)しており、公共交通全体で考えれば、差し引き約12人の利用が増え、新たな需要創出ができています。(海南病院通院支援センターは、平成28年11月1日の増便による効果が徐々に表れている)
- 蟹江線・名港線は、朝は満車に近い状況で、積み残しが危惧されるほどの利用がなされている。

7. 網形成計画の目標を達成するために行う事業とその取組

<計画の目標を達成するために行う事業>

方針	目標	事業内容	実施主体
1	①	○飛島公共交通バス(蟹江線・名港線)	飛島村
	①	○自転車駐輪場等の整備	飛島村
2	①	○飛島乗合タクシーの継続運行	飛島村
	①	○ネットワークダイヤ等の随時見直し ○近隣市町の路線との接続情報の住民への周知	協議会 協議会
3	①	○各モードの役割分担の設定確認(幹線・支線等)	協議会
4	①	○高齢者・心身障害者福祉タクシー助成制度の継続	飛島村
	①	○利用促進を促すための関係者協議	協議会



<計画の目標を達成するために行う事業の取組状況(評価)>

<基本方針1>

- 飛島公共交通バス(蟹江線・名港線)の評価結果は、前述のとおり。
- 自転車駐輪場等の整備は、コミュニティバスの廃止(H27年3月)にあわせ、計画の初年度(平成27年度)に設置可能箇所に確保している。

<基本方針2>

- 飛島乗合タクシーの「海南病院通院支援タクシー」については、病院診療の多様化にあわせて、病院発村行きのダイヤの増便を行った。(H28.11～)
- ネットワークの強化のための随時見直しとしては、定時運行のためのダイヤを見直し、平成29年1月1日より、「蟹江線」のダイヤを改正した。
- 当該ダイヤ見直しにあわせて「バスロケーションシステム」を平成29年1月1日より導入し、住民への周知活動を実施した。

<基本方針3>

- モードの組み合わせによる最適な交通サービスの提供は継続できている。

<基本方針4>

- 高齢者・心身障害者福祉タクシー助成制度は、継続して実施している。
- 利用促進を促す関係者協議については、「飛島公共交通バス検討委員会」を平成28年8月17日に開催し、①利用実績の推移、②蟹江線のダイヤ見直し、③バスロケーションシステムの導入、④海南病院通院支援タクシーの増便対応の4テーマについて協議し、事業改善策について取り組みを進めている。

8. 自己評価結果から得られた課題と対応方針

＜自己評価結果から得られた課題＞

①目標の達成状況に関する課題

- 目標達成状況については、利用者数の推移から、概ね増加傾向にあり、適切に事業展開できていると考える。

②公共交通ネットワークに関する課題

- ネットワーク面では、蟹江線・名港線が幹線系統として補助対象路線となっている。当該事業評価では、朝便の満車状況が懸念されつつも、適切に運行できていることを確認している。

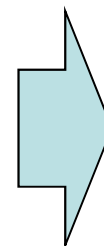
③公共交通の維持に関する課題

- 平成21年度より運行を開始した「コミュニティバス」について、随意事業見直しを行うものの利用者数が増加せず、平成27年3月をもって廃止した。当該廃止にあわせ、蟹江線の増便対応し、公共交通のサービス維持を進めている。

＜対応方針＞

過去の実施を通して、事業見直しを定期的に行っており、大きな課題は存在していない。

ただし、**蟹江線・名港線の朝便に利用者が集中し、積み残しが懸念される状況となっているため、車両の更新時期にあわせ、増便対応について注視している。**



飛島村地域公共交通網形成計画の事業スケジュール

・平成29年度は、中間評価年

9. 事業スケジュールについて

飛島村地域公共交通網形成計画の全体計画期間を5カ年とし、下記の通りスケジュールを設定する。
なお、計画期間中は、毎年、飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を開催し、事業の進捗状況を自己評価することとする。

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
1.飛島公共交通バス（蟹江線）	●				
2.飛島公共交通バス（名港線）	●				
3.海南病院通院支援タクシー	●				
4.利用促進策	●				
5. その他公共交通関連施策	●				
法定協議会の開催	●	●	●	●	●
			中間評価		事業評価 計画改訂検討

9. 網形成計画の中間評価の実施計画 (案)

(1) 事業の進捗状況の確認

	事業内容	取組成果の確認方法
1	飛島公共交通バス（蟹江線）	・ 利用者数の推移と利用者アンケート調査から評価実施 ・ 交通事業者に対するヒアリング調査による評価（課題の有無等）
2	飛島公共交通バス（名港線）	・ 同上
3	海南病院通院支援タクシー	・ 同上
4	利用促進策	・ イベントでのパネル展示、バスロケ導入等の取組内容の確認
5	その他公共交通関連施策	・ 公共交通会議を通じた協議経過の確認

(2) 利用者アンケート調査の実施計画 (案)

狙い	飛島公共交通バス（蟹江線・名港線）の利用者の満足度等の意向確認を行う。
対象	飛島公共交通バス（蟹江線・名港線）の利用者
方法	調査員による直接配布、郵送回収方式
調査時期	10月頃の平日1日、休日1日 （平成23年時は10/7（金）～10/8（土）実施、平成26年時は2月）
調査項目	属性（居住地・年齢・性別）、利用頻度・目的 サービスに対する満足度（運行頻度、定時性、ダイヤ設定、鉄道との接続性）、自由意見
狙い	海南病院通院支援タクシーの利用者の満足度、改善点等の意向確認を行う。
対象	海南病院通院支援タクシーの利用者
方法	タクシー運転手による直接配布、郵送回収方式
調査時期	10月頃1か月間
調査項目	属性（居住地・年齢・性別）、利用頻度・目的 サービスに対する満足度（運行頻度、ダイヤ設定）、自由意見

10. 平成29年度の検討計画 (案)

飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会 (検討委員会) での協議内容

検討時期	検討組織	検討内容
6月	法定協①	○検討計画案の確認
8月	委員会	○利用者アンケート調査の実施内容の協議
9月		○交通事業者ヒアリング調査・バス車両の更新等の検討
10月		○利用者アンケート調査の実施
12月	法定協②	○中間評価結果 (利用者アンケート・ヒアリング等より) の確認 ○対応方針案の協議
3月	法定協③	○対応方針の確認 「地域公共交通網形成計画」の掲載事業の一部見直し



<考えられる事業改善内容 (案) >

名港線・蟹江線等のダイヤ等の見直し
車両更新の検討
海南病院通院支援タクシーの増便検討